



News Letter



毎月コツコツで未来は大きく変わる！ 「複利」のチカラ

「**複利は人類最大の発明**」とアインシュタインが語った、と言われています。

なぜそんなにすごいのか。ポイントは***“利息がそのまま次の土台（元金）となる”**ことです。

- ステップ1：最初の元金に利息がつく
- ステップ2：その利息が元金にくっついて「新しい元金」になる
- ステップ3：次の利息は、この“ひと回り大きくなった元金”に対して計算される

「複利」はまさに、雪玉に雪がついて転がるほどに大きくなる“雪だるま式”なんです。一方で、「単利」は元金が増えること無く、ずっと一定。だから雪だるま式に大きくなることはありません。

たとえば100万円を年利5%で運用したとします。

■単利（利息は毎年同じ）

- 1年目：100万円×5%=5万円 → 105万円
- 2年目：100万円×5%=5万円 → 110万円
- 3年目：100万円×5%=5万円 → 115万円

✓複利（利息に利息がつく）

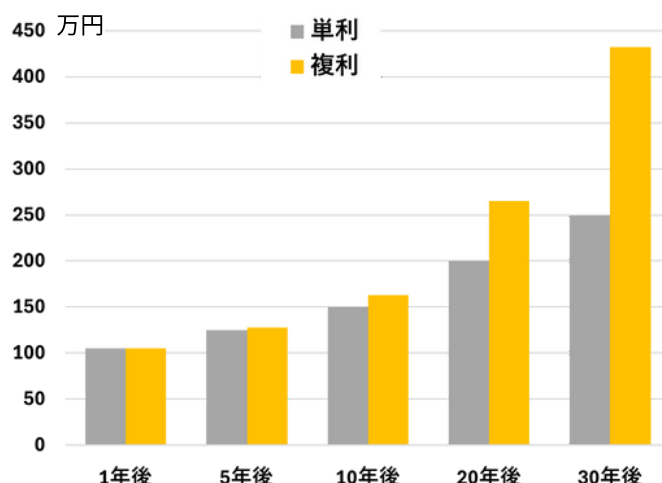
- 1年目：100万円×5%=5万円 → 105万円
- 2年目：105万円×5%=5.25万円 → 110.25万円
- 3年目：110.25万円×5%=5.51万円 → 115.76万円

この差が時間とともに広がります。

▶10年後、**単利は150万円、複利は162万円**。

▶30年後には**単利250万円、複利432万円**！

同じ5%でも、“**元金が育つ**”かどうかで未来はここまで変わります。



DCの投資信託はすべて「複利」が前提。

確定拠出年金（DC）で選べる投資信託は、利息や配当を原則として**自動的に再投資**します。

つまり、**ファンド内で複利が当たり前前に働く**設計。私たちが特別な操作をしなくても、

「長期 × 積立 × 複利」が自動で回り、結果として**企業の成長にも資金が循環**していきます。

“お金の雪だるま”を、制度として味方につけられるのがDCの大きな魅力です。

複利はお金だけの話ではありません。ひとの成長も同じです。

- 知識の複利：ひとつ学ぶと、次の学びの理解が速くなる
- スキルの複利：基礎があるほど、応用の吸収が加速する
- 信頼・人脈の複利：小さな約束の積み重ねが、次の機会を連れてくる

最初は手のひらサイズの雪玉でも、転がし続ければ大きな雪だるまに。**今日の小さな前進が、明日の自分の“土台”をひと回り大きくする**。それが続くほど、成長のスピードは加速していきます。

🔔 次回予告——10月号は「リスクとリターン」について！——投資には「リスク」がありますが、これは“危険”という意味ではなく「値動きの振れ幅」のこと。この振れ幅とうまく付き合うことが、将来の資産づくりにつながります。

おすすめ！



【乗り遅れた あなたに】確定拠出年金ってそもそも何ですか？

これさえ見れば、納得・安心して始められます！



Click!

